

Ⅱ-1 新幹線敦賀駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・北陸新幹線の終着駅効果を嶺南各地に波及させる基盤づくり(新幹線駅前広場の整備、小浜線や二次交通の拡充など)
- ・海陸交通の要衝としての歴史再生による敦賀港および金ヶ崎地区の再整備



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30) (福井国体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022(R4)	2023(R5) (福井・敦賀開業)	2024～ (R6～)	大阪開業	
敦賀駅	鉄道・運輸機構 約188億円	駅舎デザイン エッセイ 提案(市)	駅舎 基本設計	駅舎実施設計	駅舎整備				試験 運転等			
	県・敦賀市	新幹線駅前広場の整備、アクセス道路の整備										
	敦賀市	駅西地区土地活用エリア サウンディング調査			駅西地区土地活用エリアの整備							
	敦賀市	本町通りの歩行空間美化										
	敦賀市 民間	駅から金ヶ崎エリアへの 観光案内板の設置						敦賀駅周辺エリアのビル改修・景観整備				
敦賀港	県 約2億円	クルーズ船 受入施設の 整備										
	敦賀市	金ヶ崎城跡の保存活用 計画策定		金ヶ崎城跡 整備基本計画策定検討						R6以降未定		
	敦賀市	氣比神宮境内 奥のほそ道の 風景地指定 大鳥居美化		保存活用計画検討						保存活用計画策定		
	敦賀市	金ヶ崎周辺整備構想の実現										
	敦賀市	4棟復元によるムゼウムの再整備						金ヶ崎エリアのまちづくり 実行プラン策定	オーベルジュ等の賑わ い創出施設の整備			
	県・敦賀市	転車台の 保存	民間による往時のまちなみ復元、物販・飲食施設整備検討			民間による金ヶ崎の賑わい創出施設の整備						
		鉄道遺産の活用に向けた検討・整備										

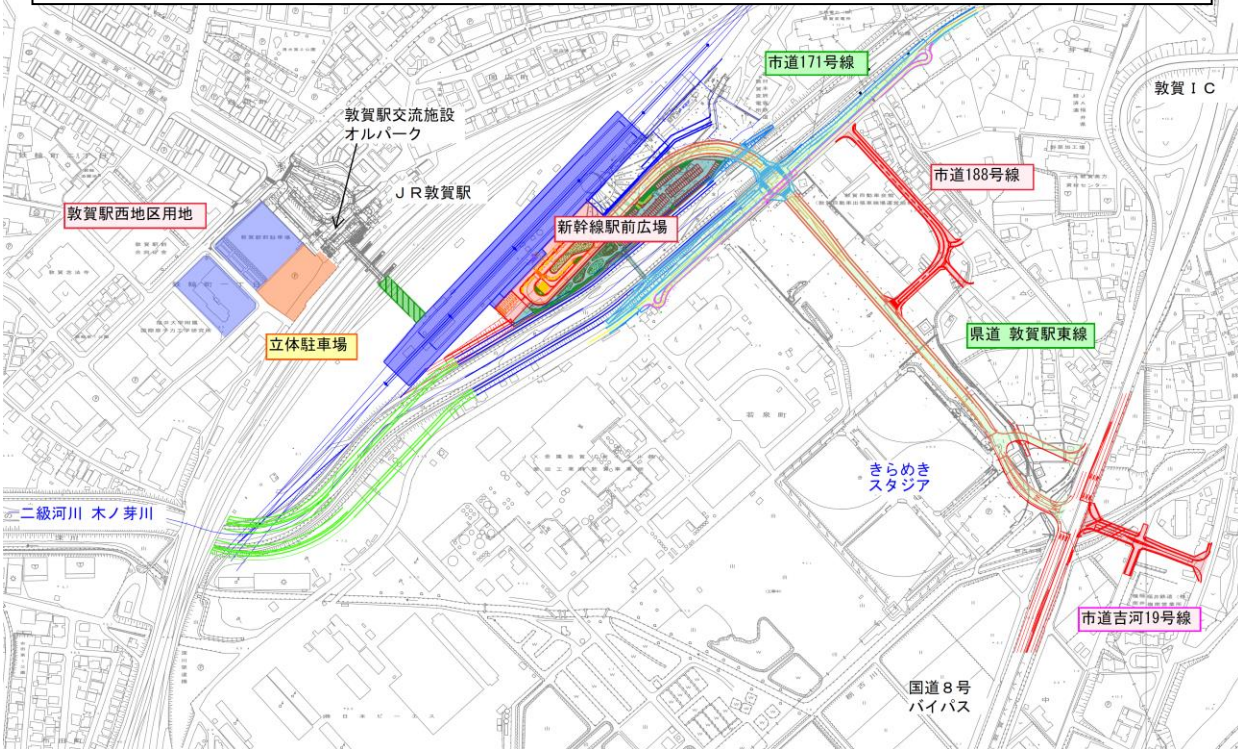
Ⅱ-1 (1) 敦賀駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・敦賀市	場所	敦賀市
事業費	未定	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 交流施設「オルパーク」の整備(市、2014) 敦賀駅前広場の整備(市、2015) 新幹線駅舎実施設計の完了(機構、2018) 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線駅舎の整備(機構、～2023) 敦賀駅アクセス道路の整備(県、～2023) 新幹線駅前広場等の整備(市、～2023) 木の芽川の景観維持(県、2019～) 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線駅前広場からの広域二次交通の充実 嶺南全域を案内する観光案内施設の整備 駅西・駅東のアクセス道路(第2環状道路)の整備

敦賀駅において乗換を行い、北陸と関西、中京間を行き来する旅行客やビジネス客は年間700万人を超えると試算されています。この効果を嶺南全体の観光や産業の活性化につなげるため、交流施設「オルパーク」や敦賀駅前広場に続き、新幹線駅前広場やアクセス道路の整備を進め、新幹線・JR・並行在来線のターミナル駅となる敦賀駅の交通ハブ機能を強化します。

新幹線駅舎デザインコンセプト「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」



- 2023年度実施事業【福井県】
 - 敦賀市が行う新幹線駅の周辺整備支援 (北陸新幹線三駅周辺整備推進事業 3,216千円)
 - 新幹線敦賀駅の利用環境整備支援 (嶺南地域新幹線駅周辺整備支援事業 92,682千円)
 - 新幹線駅と国道8号とのアクセス道路整備 (街路事業 63,000千円)
 - 木の芽川の景観維持 ((県単)河川維持修繕事業 160,000千円の内数)
 - ムービングウォークの整備 (敦賀駅ムービングウォーク整備事業 87,100千円)
 - 新幹線敦賀駅へのデジタルサイネージ設置への支援 (嶺南地域観光交通情報等発信事業 78,649千円)
- 2023年度実施事業【敦賀市】
 - 新幹線駅前広場や周辺道路等の整備 (北陸新幹線駅周辺施設整備事業費 1,226千円)
 - 駅西・駅東のアクセス道路(第2環状道路)の整備 (第2環状道路整備促進事業費 37,500千円)



オルパーク



北陸新幹線敦賀駅舎(イメージ)

出所 敦賀市作成

敦賀駅および駅周辺のまちづくり（駅から金ヶ崎への動線整備）

主体	県、敦賀市	場所	敦賀市
事業費	未定	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・市立博物館の改修(市、2015) ・キッズパークつるが開館(市、2016) ・氣比神宮大鳥居修復工事(県・市・民間、2017) ・シェアサイクルポート整備(市、～2019) ・敦賀市駅前立体駐車場の整備(市、2019) ・敦賀港線の景観整備(県、2020) ・本町通りの歩行空間美装化(市、～2020) ・敦賀駅西地区「otta」及び、「ちえなみき」の整備(市・民間、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・名勝おくのほそ道の風景地けいの明神(氣比神宮境内)の保存活用検討(市、2017～) ・みなとつるが山車会館の改修(市、2021～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を周遊する二次交通の充実 ・敦賀駅周辺エリアの商業ビル・個店のリノベーション支援(民間、2022～2027)

敦賀駅で下車した観光客や市民が、氣比神宮や門前となる商店街などから金ヶ崎周辺までを周遊したくなるような街並み・道路整備や賑わいづくりを進めます。



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・市町と連携した観光地周辺の景観整備(嶺南振興プロジェクト枠予算(ハード事業)150,000千円の内数)
 - ・市町が行う地域資源の磨き上げに資する環境整備を支援(市町協働による地域みらい応援プロジェクト 331,862千円の内数)
 - ・リノベーションの手法を活用した商業ビルや個店の整備の支援(官民連携による「敦賀市まちづくりファン」活用事業 120,000千円)
- 2023年度実施事業【敦賀市】
 - ・みなとつるが山車会館施設の改修(みなとつるが山車会館魅力向上事業 29,137千円)
 - ・誘客力向上のための店舗リノベーション等の支援(店舗等魅力向上支援事業 154,500千円)

Ⅱ-1 (2) 金ヶ崎周辺整備構想の実現

主体	県・敦賀市	場所	敦賀市
事業費	約13億円	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 赤レンガ倉庫(ジオラマ館、レストラン館)、ランプ小屋の整備(市、2015) クルーズ船の受入設備の整備(県、2016) 金ヶ崎周辺施設整備基本計画の策定(市、2018) 人道の港敦賀ムゼウムの整備(県・市、～2020) 金ヶ崎緑地におけるプロジェクションマッピングの整備(県・市、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡金ヶ崎城跡の保存活用整備検討(市、2015～) 鉄道遺産を巡るSLバスの運行(市町、2017～) 金ヶ崎周辺エリアのまちづくり実行プランの策定(県・市等、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間資本活用によるオーベルジュ等の賑わい創出施設の整備

「人道の港」のブランドイメージを形成し、さらなる賑わいを創出するため、赤レンガ倉庫(ジオラマ館およびレストラン館)のリニューアルオープンに続き、明治以降の近代化遺産の活用など、金ヶ崎周辺整備構想を具体化します。

金ヶ崎城跡の整備



4棟復元による新ムゼウムの整備(敦賀市)



海外クルーズ客船の誘致(イメージ)



ジオラマ館の整備(敦賀市)



金ヶ崎周辺の往時のまちなみ復元(民間)

